

## 北殿町1号線、2号線

平成23年度完了

松江歴史館の裏を通り、北殿町町内を散策できるように側溝及び舗装を修景しました。松江歴史館前の来待石平板との連続性を持たせるために、来待石に近い色合いと型押しアスファルトによる平板舗装のような風合いを持たせています。



## 米子町大橋川線

平成22年度完了

側溝を修繕し、歩きやすい環境を整備しました。あわせて通り名を示すサインを設置しています。



## 米子殿町線

平成24年度完了



歩道をフラット化して歩行者が安心して歩ける環境を整備しました。

## 母衣町大橋川線

平成24年度完了



歩道をフラット化して歩行者が安全に歩ける環境を整備しました。

# 大手前通り まちづくりだより 第26号

## 大手前通り周辺地区都市再生整備計画 第1期(平成20年度～平成24年度)の実施内容について

松江市では、城山北公園線拡幅事業にあわせて、大手前通り周辺地区都市再生整備計画を作成し、平成20年度より整備を行なっています。これは、観光施設周辺の歩行環境整備や、生活に身近な市道や公園等の整備をすることにより、安心・安全なまちづくりを進めるものです。

第1期整備計画は平成20年度から24年度までとし、殿町、母衣町及び米子町を対象エリアとして、次のような整備を行ないました。

なお、平成25年度以降については、南田町にも対象エリアを広げて、第2期 都市再生整備計画を作成しており、引き続き事業を進めてまいります。

## 母衣町ポケットパーク

平成24年度完了



公園のある場所にマークが…  
同じマークが松江城の石垣にもあります。探してください。



足元にお城のマークが…  
矢印の先には、松江城天守閣が見えます。

母衣町ポケットパークは、まちかどの憩いの場、お城の見える視点場「みちの縁側」として、大手前通り周辺地区都市再生整備計画の一環として松江市が整備しました。

平成20年度には、市民からアイデア募集を行い、寄せられた意見をもとに大手前通りみちづくり協議会で討議。市民のアイデアを取り入れたポケットパークになりました。



公園内の植栽枡やスツールは、工事の際に出土した石材を利用しています。  
この石材の多くは、大海崎石といって、藩政時代から家の基礎や側溝などに使われてきた石材です。松江地方裁判所のソテツ植栽周辺も同じように出土した石材を利用し石積が造られる予定です。

## 北田大手前線(惣門橋通り)

平成22年度完了

松江歴史館の前の堀沿いの通りです。松江歴史館完成に合わせて一期工事が完成しました。引き続き、第2期整備計画において、松江歴史館から物産観光館までを整備する予定です。平板に使われている石材は、松江市の特徴的な石材である「来待石」です。



歴史館側の基礎石垣は、以前の建物板塀の基礎がそのまま使われています。



歴史館北側には、フットライトが設置してあります。

# 大手前通り周辺地区(第2期)都市再生整備計画

事業期間:平成25年度～平成29年度

## 暮らす人も訪れる人も安心快適な、住んでよし、訪れてよしのまちづくり

③市道母衣町大橋川線(H25～H26)  
歩道・車道の整備、  
水路の整備(歩道フラット化)L=400m



⑩市道南田東西線(H25～H26)  
側溝(雨水)の整備 L=218m



⑨舟つきの松公園整備(H26～H28)  
A=6,000㎡  
公園整備、避難路整備



⑦市道南田11号線(H26～H27)  
側溝、舗装の整備 L=25m



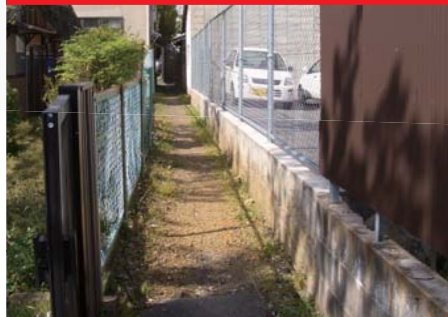
⑥市道南田9号線(H26～H27)  
側溝の整備 美装化 L=80m



①市道北田大手前線(H29)  
歩道・車道の整備 L=185m



⑧南殿町歩行道路整備(H27～H29)  
歩行者道路の整備 L=110m



②市道母衣南北線(H26～H29)  
歩道・車道の整備(歩道フラット化)  
L=550m



④市道南田南北線(H25～H26)  
側溝の整備 L=200m



⑤市道北田大橋線(H25～H26)  
歩道・車道の整備(歩道フラット化)  
L=200m



⑪大手前地区まちづくり推進事業  
広報発行(H25～H29)



### 城山北公園線街路事業

- 凡例
- 第2期計画区域(H25～H29年度)
  - 第1期整備路線(H20～H24年度)
  - 第2期整備路線(H25～H29年度)

※事業年度は変更する場合があります。